



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ  
岐阜中ロータリークラブ

# Weekly Report

2020-21 RIテーマ  
ロータリーは機会の扉を開く

令和2年10月16日(金)

第1365回例会 第1280号

会長 三宅裕樹  
幹事 篠田たつ彥  
発行 公共イメージ委員会  
例会 火曜日 12時30分  
会場 都ホテル 岐阜長良川  
事務局 岐阜市神田町2-2  
電話 058-264-9235

クラブスローガン

伝統的日本ロータリーの文化を尊重しつつ、新たな試みを果敢に実行する

**必達！！第1例会出席率 100%**

**必達！！年間例会出席率 90%**

## 会長挨拶

会長 三宅裕樹



本日は、第2630地区パストガバナーの木村静之先生を研修例会の講師としてお招きしております。また、米山奨学生のオントルマさんをお迎えしております。木村パストガバナーには後ほどご講話をよろしくお願いいたします。

さて、9月2日午後から中クラブメンバーの名前を冠したウイルスメールが飛散いたしました。内容及び形状から非常に危険な種類のものである事は容易に判断できました。ネット上のウイルスとは、「人為的に作られた悪質なプログラム」です。コロナのような自然発生的なものではありません。ほとんどメールによって拡散し、受信したパソコンを感染させ格納されている情報やメールアドレスを盗

み出して悪用し、新たな感染者を増殖させます。

ほとんどの企業や個人のパソコンは、最新のOSを使用し、最新のセキュリティソフトにより保護されています。この2点が完璧であれば感染することは稀です。感染のほとんどが、いわゆるパソコン等の管理不十分が原因であったと考えて間違いありません。企業経営者はウイルス感染の代償が意外に大きいことを理解しておく必要があります。企業によっては感染企業との取引を停止する等の措置を取る場合もあります。感染によって生じる信用の失墜はその存続に少なからぬ影響を与えます。

ウイルスから企業を守る方法は以下のように考えられます。

- 1、企業トップがコンピュータに関する知識や関心を有すること。それが無理ならば、ネットワーク管理者を専任し管理をさせること。
- 2、コンピュータは消耗品と割り切り、環境の変化（新OSの発表・現行OSのサポート終了等）に伴い、新型機の適時入替え可能な費用を確保すること。
- 3、オペレーションスタッフに対し

不審なメール等を開かない等の教育を徹底すること。

4、感染が疑われる場合には、即座にネット接続を遮断し、専門家による対応と関与先への報告（注意喚起）を行うこと。

## 友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

パストガバナー 木村静之様

本日は、卓話に参りました。よろしくお願ひ申し上げます。

三宅裕樹君

木村パストガバナー、本日はよろしくお願ひいたします。

故金正司君

パストガバナー、本日はようこそおいでくださいました。楽しい話をよろしくお願ひいたします。

★誕生日おめでとうございます★

勝野和男君

傘寿を迎えています。あっという間に終わったということがないように、実りある一年にしたいと思っています。

秋保賢一君

67歳になります。

★結婚記念日おめでとうございます★

安田高志君

去年は、忘れていました。今年は、覚えていました。

## 前例会の記録

第1364回

2020年10月6日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 君が代 奉仕の理想

[ゲスト] 国際ロータリー第2630地区パストガバナー 木村静之様  
米山奨学生 オントルマ様

[ビクター]

[出席] 会員総数30名(出席免除 5名)

本日出席20名 80.00%

[行事] 『ロータリアンとして大切にしたいこと』

国際ロータリー第2630地区

パストガバナー 木村静之様

担当 会長・幹事

## 次回予定

第1366回

2020年10月27日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] クラブフォーラム

『30周年記念事業について』

担当 30周年記念実行委員会